

平成28年度 第4回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会
(第5回プラン見直しのための会議) 会議録

日 時：平成28年7月1日(金)
午前9時30分～午前10時45分
場 所：市民会館 第5・6会議室

出席委員：横山貴子・小宮山洋子・渡邊恵子・小松豊・勝間田和子・小宮山なほみ・
山崎喜三・平野昭弘・勝又欣也・佐藤正博・南茂秀子・根上英志・
勝又文弘

アドバイザー：牛山教授(明治大学政治経済学部)

明治大学：吉澤佑葵、黒石啓太

事務局：村松次長、勝又統括、鈴木主事、寺島主事

1 開 会 (副会長不在につき、事務局)

2 あいさつ (渡邊会長)

3 協議事項について

(1) 平成28年度市民協働型まちづくり事業について

①行政提案部門提案

お菓子のデザインコンテスト「富士山をお菓子にしてみませんか」(文化スポーツ課)

*提案者である行政担当課、文化スポーツ課より提案説明。その後、協働相手の団体、御殿場小山製菓組合より意見発言、以下質疑。

委員：お菓子はパッケージのインパクトも大切だと思うが、包装はどのように考えているか。

団体：今回はパッケージではなく、お菓子そのものを募集する。

委員：袋で持っているとそれだけでPR効果がある。また、開封した時の面白さも加味できるのでは。ただお菓子というだけよりも、そのような要素も検討してほしい。また、試作となるとかなりの数になるのではないか。

団体：徐々に数を絞っていき、グランプリや他の受賞作に絞った段階で試作する。

委員：完成作が、応募した人の思いと違っているということもあると思うが。

団体：確かに合致しない部分もある。調整を重ね完成作とする。

組合で同一レシピができれば各店舗で同じものができるが、一口にお菓子といっても原料が多岐にわたり、簡単に統一できない。基本の形といったレシピを作り、細部は各店舗に任せ、それぞれで細かい違いが生まれるこ

とになると思う。

委員：なるべく多くの人に知ってほしい。

団体：継続的に販売ができればよいが、「富士山の日」にあわせると普通11月12月1月が繁忙期なので、各店舗の負担が大きい。それぞれができるところで協力し、来店者増や店の場所の認知といった波及効果につなげたい。

委員：毎年新しいデザインを募集するのか、一つを定着させていくのか。

団体：数十品の中から1、2個という具合に、ヒット商品を生むことは難しいので、販売の継続は難しいのでは。その年その年で全力を尽くし、数年の中でヒット商品が生まれれば、何年か続けられればありがたい。

委員：ヒット商品を作ることが目的なのか。

団体：御殿場市の銘菓を作りたい。

委員：9月23日が応募の締め切りだが、アイデアを練る期間が必要だと思う。いつから受け付けるのか。また、一人1点といった応募条件や、広報活動はどうするのか。

文化スポーツ課：特に制限はない。受け付けは、補助金確定次第。広報は広報誌、フェイスブック、プレスリリース等できる手段は使う。

委員：賞が決まった後で、「〇〇に似ている」ということはないか。審査の段階で調査する手段はあるか。

団体：全国規模でみると、過去に訴訟はあったが、デザインに関してはないのではないかと。訴訟の時代なので配慮したいが、権利関係の登録をするつもりはないので、問題にはならないのでは。

②今年度決定事項（報告）

*④市民提案部門・はじめの一步部門決定事項一覧、⑩補助の条件が付いた「防災都市御殿場づくり体験の日」の再提出書類、①市民協働事業年間予定表に基づき事務局から説明、以下質疑。

委員：⑩について、公開提案会・選考会では中学生を集めて宿泊を行うという説明だった。どの程度新しいものがあるかと思ったら、特になし。どのような経緯でこのようになったのか。

事務局：選考会での「宿泊にはそれなりの計画が必要」といった委員の発言を伝え、3年間を見据えまず初年度は宿泊なしでやってみるという結論に達した。これがすべてなので、協議会で意見が出ればそれをまた団体に伝える。

委員：この内容ならどこの防災訓練でも行っている。その中で、当初の宿泊に新鮮味を感じていた。

会長：団体としては我々の意見を受け入れて考慮したのでは。1年目ということも考慮したのでは。

事務局：中学生にフォーカスするという点は、団体に確認したい。

委員：どこがほかの訓練と違うのかPRしてもらいたい。

委員：宿泊という真新しいものが抜けてしまったと感じる。

(2) 「御殿場市市民協働型まちづくり推進プラン」の見直しについて

* 明治大学より、今回改定部の説明

* その後、作業委員選出。立候補者がいなかったため、会長より指名

	氏名	所属団体等	備考
1	横山 貴子	公募	1号委員
2	勝又 浩吉	公募	1号委員
3	渡邊 恵子	特定非営利活動法人 エコハウス御殿場	2号委員
4	小宮山 なほみ	御殿場市ボランティア連絡協議会	2号委員
5	湯山 有朋	御殿場市民活動支援センター	3号委員
6	根上 英志	都市建設部 都市計画課 主任	4号委員
7	勝又 文弘	教育部 社会教育課 課長補佐	4号委員

出席者についてはその場で了承、欠席者2名については終了後事務局より伝え、了承された。

【教授より推進プラン改定について】

御殿場市の現状課題を把握するにあたっては、過去のデータと現在のデータを比較することが必要。基本的な考え方は踏襲し、過去の積み重ねに加え新たな事項があれば上乘せしていく。9ページからの「協働の具体的な手段」は若干整理し、「委託」「共催」「補助金」などの違いは何かを明確にすることが必要。実際の市民協働事業や過去のプラン策定に携わった人もいると思うので、ご意見があればお願いしたい。3本の柱に従い推進をしていき、今後5年間で目玉となる施策ができるかがポイント。他の自治体のプランも参照し、組み入れられる特徴があれば組み入れていきたい。

4 その他

(事務局より)

* 視察研修が9月下旬～10月になる見込みだと報告

* 公開提案会・選考会(6月10日)に参加した庁内市民協働推進員の感想報告

5 閉会(山崎委員)